

Bulletin of Japan Society of Quality Assurance

日本QA研究会

特集 第18回定例総会
第25回GLP部会総会

Oct.2009 No.38

第25回GLP部会総会 特別講演
2009年6月19日 (アクトシティ浜松)

「やりました夢の実現まいど1号」 ～修理に行けない宇宙は人づくり

㈱大日電子代表取締役 枚本日出夫



6

はじめに～司会の挨拶

なぜこの講演を選んだかということですが、GLP部会総会企画実行班の会議を開いて、違う分野、違う業種のほうで信頼性とか品質とかその辺をどうやっているかというのを聞きしたらどうかということで、幾つか候補が挙がりました。出版会社とかその他いろんなところで、どのようにして品質とか信頼性を担保しているか。その中で、大阪のほうで「まいど1号」というのが話題になっているという話が出ました。たまたまその会議があった2日後の1月23日というのがこの「まいど1号」の打ち上げの日でありました。成功したかどうかというのがポイントだったんですけれども、確認したらちょうど成功したということで、東大阪宇宙開発協同組合(SOHLA)にお願いをして大日電子の枚本(すぎ

もと)先生にご講演をいただくことになりました。

1. まいど1号打ち上げ成功までの話

自分たちは大阪のべたべたの長屋で衛星をつくってきたんですよという話を今日はさせていただきたいと思います。今日は講演にお招きいただきまして、どうもありがとうございました(スライド1)。

「まいど」の始まりですが、東大阪のお話になります。7年前ですけど、1万2000軒あった中小企業が約6000から6500に衰退して企業が減ってきた。東大阪独特の技術で、緩まないねじとかスプリングとか、今は超有名ですけど、山本化学工業というスイミングのウェットスーツ素材の会社がありますよね、ああいうもの、あるいはマラソンの野口みずき選手のサングラス、ゴーグルと